

## 1 背景・目的

平成 26 年 3 月 31 日現在で、市が管理している公園は、都市公園、児童公園、その他公園を併せて 183 公園です。

昭和 25 年度に日吉公園を開設して以降、昭和時代に開設した公園が、公園全体の 7 割を超えており、公園施設の老朽化により、安全快適な状態を保つことが難しくなっています。

今後、さらに老朽化が進行していくなか、市民の方に安全・安心に公園利用をしていただくための対策として公園施設の計画的な更新や適切な維持保全の実施が、必要不可欠となっております。

そのため、「**守口市 公園施設長寿命化計画**」を策定しました。

## 2 計画策定の効果

### ◆安全・安心な公園の提供

定期的な点検や調査などを行うことで、常に安全で安心な公園を提供します。

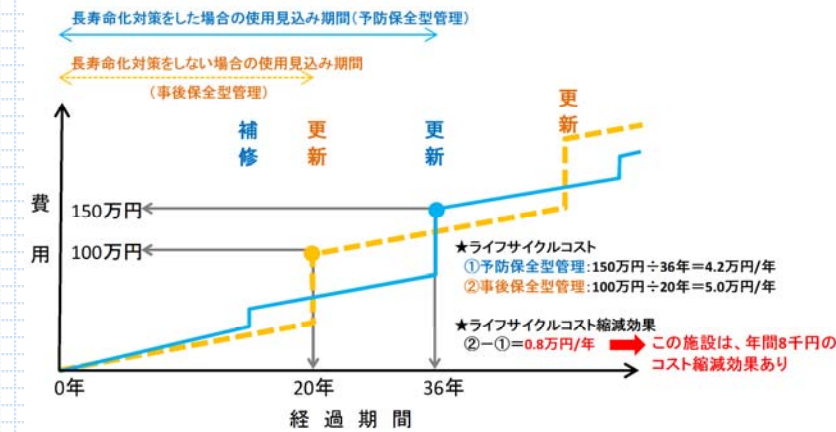
### ◆ライフサイクルコストの縮減

長寿命化対策を行うことで、ライフサイクルコスト(施設を設置してから次に更新するまでにかかる費用)が縮減できる施設があります。

本市において、本計画を実施した場合、1年あたり 929 千円のライフサイクルコスト縮減を図ることができます。

### ◆使用見込み期間の延長

定期的に点検や塗装・補修等を行うことで、施設の使用見込み期間が事後保全型管理施設の 1.8 倍になると想定しています。



〈長寿命化の概念図〉

## 3 計画策定の流れ

計画の策定は3か年で行いました。

### 【平成 23 年度】

◆遊具点検・・・市内の公園に設置されている遊具の点検を実施

### 【平成 24 年度】

◆予備・健全度調査・・・市内 146 公園において、公園施設の劣化状況等の点検・調査を実施

### 【平成 25 年度】

◆予備・健全度調査・・・市内 37 公園において、公園施設の劣化状況等の点検・調査を実施

◆計画策定・・・これまでの点検・調査記録を整理し、公園施設長寿命化計画策定指針に基づき計画を策定

## 4 健全度調査結果の概要

### ■健全度調査結果 ～施設の劣化状況～

判定の基準は、国の指針に基づき A～D の 4 段階で評価しました (A: 全体的に健全、B: 部分的に劣化、C: 全体的に劣化、D: 全体的に顕著な劣化で利用禁止に相当)。

一般施設の調査結果をみると、最も多いのは B 判定 (3,115 施設、71.2%) であり、次いで A 判定 (728 施設、16.6%)、C 判定 (502 施設、11.5%)。最も健全度が悪い D 判定は 32 施設 (0.7%) でした。

遊戯施設では、最も多いのは C 判定 (441 施設、67.5%) であり、次いで B 判定 (210 施設、32.2%)、A 判定 (2 施設、0.3%) でした。最も健全度が悪い D 判定はありませんでした。

C 判定の内訳の 9 割近くが、劣化のみならず「遊具の安全に関する規準」に基づく安全領域が確保出来ない施設です。

#### 【健全度判定結果】

※調査対象外施設等があるため、施設の合計は一致しない。

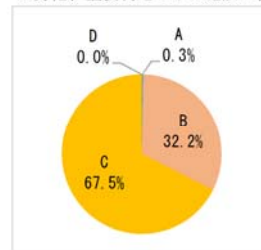
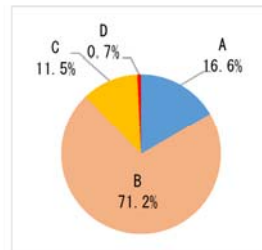
#### ◆一般施設

健全度	施設数
A	728
B	3,115
C	502
D	32
合計	4,377

#### ◆遊戯施設

健全度	施設数
A	2
B	210
C	441
D	0
合計	653

※劣化、塗装判定のみの施設は含んでいない。



一般施設：ベンチ、照明灯、フェンス等  
遊戯施設：ぶらんこ、滑り台、砂場等

## 5 公園施設長寿命化計画

### ■計画期間

平成 26 年度～平成 35 年度 (10 年間)

### ■管理類型の区分と管理方法

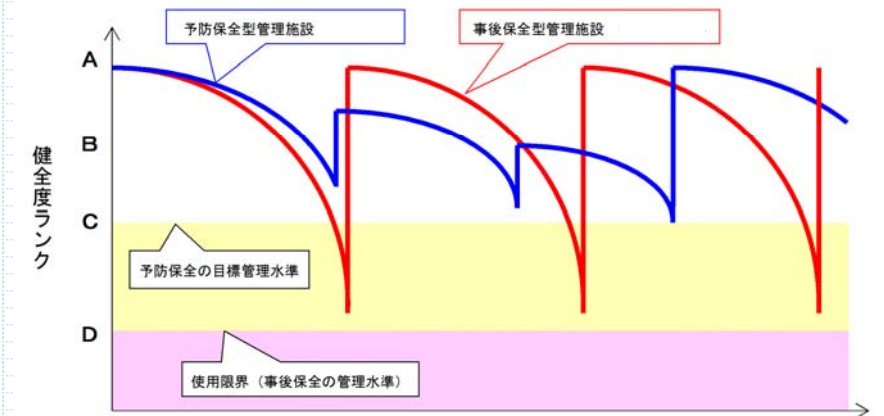
施設の優先度、劣化状況などをふまえ、本市における管理類型の区分を以下のように設定しました。

予防保全型管理施設 → 遊戯施設

定期的な健全度調査をもとに計画的な補修・更新します。

事後保全型管理施設 → 一般施設

日常点検で、求められる機能が確保できないと判断された時点で更新します。



〈目標管理水準のイメージ〉

### ■長寿命化対策の内容

- ◆健全度判定に基づく遊具の適正な撤去・更新の実施 (更新については、公園利用者のニーズに配慮)
- ◆一般施設では、照明柱の建替えと併せて LED 化を進めるとともに、ベンチなどの休養施設など可能な限り更新等を実施
- ◆遊戯施設等の定期的な点検の実施
- ◆長寿命化に資する定期的な塗装及び消耗品交換など (1 回/5 年) の実施

### ■長寿命化対策の時期

- ◆下記施設を最優先に対策します。
  - ・健全度 D 判定施設
  - ・安全基準で不具合のある遊戯施設
- ◆さらに対策時期が集中した場合は、下記の手順で対策時期を検討します。
  - ①遊戯施設 (安全基準で不具合) > 遊戯施設 > その他事後保全施設
  - ②設置年度の古い施設を優先
  - ③利用頻度の高い都市公園 > その他の公園